

からふる



令和4年2月 冬号
発行：千歳市教育委員会

「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

令和4年度 主な教育施策(案)の概要

令和4年度の教育予算(案)は、総額約37億7千万円で内訳は下記円グラフのとおりです。

『まるごと千歳・すべての学びを支えるまち』を基本とした教育施策を一層推進します。

ICT機器を活用した教育の推進

新学習指導要領へ対応し、子どもたちの情報活用能力の育成や、個別最適化された学習環境の実現を図るため、学校における学習者用コンピュータの整備や電子黒板の更新など、ICT環境の充実を図ります。



- ・学習者用PC整備（全小学校）
- ・電子黒板の更新
（小学校7校、中学校2校）
- ・ICTサポーターの全校配置

習熟度別少人数指導の実施

習熟度別少人数指導の実施を目的に「学習支援員」を小学校14校と中学校6校に配置します。

◇学習支援員◇
小学校24人、中学校6人



みどり台小学校がいよいよ開校

北陽小学校の分離新設校であるみどり台小学校が令和4年4月に開校します。校舎・講堂の工事は今年度中に完了し、令和4年度は駐車場・エントランスの整備工事を行います。



特別支援学級・通級指導教室の増設

特別な教育的支援を必要とする児童生徒の教育環境を充実させるため、令和4年度から末広小学校に特別支援学級を開設します。また、北陽小学校では分離後の教室を活用し、特別支援学級の拡充と、JR線より北側の小学校に在籍する児童を対象とした通級指導教室(ことばとまなびの教室)を開設します。

【通級指導教室とは】

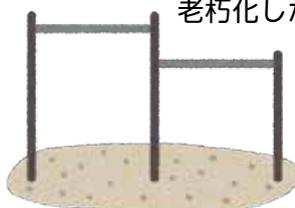
ほとんどの授業を通常学級で受けながら、週に1回程度、対人関係や言語面の課題を改善するための指導を行う場所です。

現在市内では、北進小学校(発達)と緑小学校(言語)に設置されており、通級指導を受ける児童は、在籍校から設置されている学校に通い、指導を受けています。通級は教育相談や手続を経て、決定した場合に指導を受けることができます。

学校施設の改修

老朽化した校舎の外壁や屋上、講堂、校庭の遊具などの改修工事、ボイラー・換気設備等の更新工事を計画的に進めます。

- ・小中学校改修工事：6校
- ・小学校ボイラー等更新工事：2校



教育予算(案)の内訳



【歳出合計：3,773百万円】
※幼稚園費、大学費を除く



千歳市奨学金制度について

千歳市教育委員会では、学習する意欲があり、その能力がありながら、経済的な理由で修学が困難な高校生や大学生などに対し、等しく教育を受ける機会を確保するため、給付型の奨学金を交付しています。

奨学金の交付は、市内に住民登録があり（本人または保護者）、支給要件（下記参照）を全て満たす方を対象としており、奨学生選考委員会の審査を経て決定しています。

※ 申込期間は、毎年3月上旬から4月上旬までとしており、令和4年度の申込手続については、「広報ちとせ 2月号」や市ホームページでお知らせしています。

《奨学金支給要件》

- ◎高等学校、高等専門学校、専修学校（修業年限が3年以上の高等課程または修業年限が2年以上の専門課程に限る）、大学（短期大学を含む）に在学している方
- ◎学資に乏しい方
- ◎学業が優良で素行が善良な方



部 門	対 象	金 額
高校の部 (85人予定)	高校生	月額 7,000円 以内
	高等専門学校生 (1年生から3年生)	
大学の部 (105人予定)	専修学校生 (修業年限が3年以上の高等課程)	月額 10,000円 以内
	大学生（短期大学含む）	
	高等専門学校生 (4年生、5年生、専攻科)	
	専修学校生 (修業年限が2年以上の専門課程)	

本事業は、市民の皆さまや企業、各種団体からの善意ある寄附金などを積み立てた「奨学基金」を財源としております。「奨学基金」への寄附は随時受け付けていますので、未来を担う子どもたちを支える本事業の、安定的な運用と一層の充実を図るため、皆さまからのご寄附をお待ちしております。

【過去5年の奨学基金への寄附状況】

年 度	寄附金額	寄附件数
平成29年度	10,092,860円	38件
平成30年度	11,252,390円	39件
令和元年度	6,320,942円	28件
令和2年度	5,305,528円	16件
令和3年度 (2月10日現在)	4,643,463円	14件

※ふるさと納税による寄附を除く

【千歳市奨学金受給者からの感謝のこぼれ】

千歳市奨学金を受給して、この1年間は非常に勉強しやすい環境だと
 思います。講義で使う教科書や文房具などは、奨学金が払出することで不自由することなく、
 自由に勉強することが出来ました。また、学業面においては、今年度は専門科目が特に
 困難に思いましたが、諦めず努力することをやめずに、なんとかやり遂げることが
 できました。また、国家資格に必要な専門家用の科目においても、しっかり取得
 することが出来たのは奨学金があったおかげだと思っています。

学校に図書・楽器が寄贈されました

【株式会社 デンソー北海道 様】

昨年11月に、株式会社デンソー北海道様から、市内小中学校（桜木小、向陽台小、北陽小、東千歳中）に、学校図書館で活用するための、図鑑などの「図書」70冊を寄贈いただきました。

児童生徒からは、「たくさん本をありがとうございます。」との声が届いております。

株式会社デンソー北海道様からは、平成19年から毎年、市内小中学校へ学校図書館用の「図書」を寄贈いただいております。



【株式会社 戸田運輸 様】

昨年12月に、株式会社戸田運輸様から、市内小中学校（北栄小、富丘中、北斗中）に、吹奏楽部等で活用するための「バスドラム、ホルン、バスリコーダー」を寄贈いただきました。

児童生徒からは、「新しい楽器を使ってたくさん練習し、定期演奏会でいい演奏ができるように頑張ります。」との声が届いております。

株式会社戸田運輸様からは、平成22年から毎年、市内小中学校へ「楽器」や「ICT機器」を寄贈いただいております。

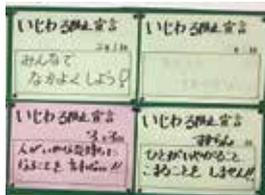


学校の特色ある取組を紹介します！

信濃小学校 「元気なあいさつが響きわたる学校」を目指して

信濃小学校は「笑顔でチャレンジしなの子」を合言葉に、明るく素直な子どもたちが383名。書記局を中心に児童会活動に力を入れています。1年を通じて毎朝児童玄関で「あいさつ運動」を行い、後期にはアーチをつくって出迎え、クリスマスにはサンタの帽子をかぶって「おはようございます！」と声をかけていました。令和元年に作成した「いじめ防止宣言」（7項目）をもとに「小さいいじわるからなくそう」と呼びかけ、話し合いをもとに学級のスローガンを決めました。

「あいさつあふれる、笑顔あふれる」学校です。



泉沢小学校 中学校との円滑な接続～小中連携～

新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度はできなかった小中連携の取組について、今年度は向陽台中学校のおかげもあり、いくつかの取組を実施することができました。



部活動体験の様子

11月には中学校社会科の教員が6年生を対象に授業を実施していただき、また1月には、本校児童が中学校に出向き、興味をもった部活動の体験をさせていただきました。

本校児童が中学校の教員や生徒と様々な場面に関わる機会を得たことで、中学校進学に対する不安感が和らぎ、中学校生活に対する夢や希望が膨らみました。



出前授業の様子

青葉中学校 ～ICT活用で学びの保障を～

青葉中学校では、ICT化がどんどん進んでいます。生徒1人1台のコンピュータ（Chromebook）と併せて充電保管庫を各クラスに設置し、学習用具のひとつとしてそれぞれが持ち歩いています。授業でコンピュータを活用するのはもちろん、コロナ禍にも対応し、学級閉鎖や出席停止の際には、自分のコンピュータを持ち帰り、Meet（ウェブ会議）を通じて、オンラインで授業を受けることができるようにしています。配布するプリントは、前もってClassroom（グループウェア）により配布し、生徒は課題にも取り組むことができます。

写真は英語の授業で、コンピュータを用いて単語の学習をしているところです。オンライン授業を受けている生徒も参加することができます。ペア学習や話し合いは限られていますが、コロナ禍でも楽しく学習することができるよう、工夫をしています。

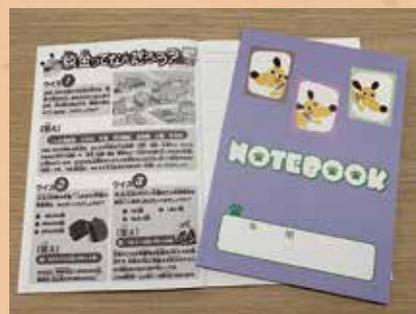


中学1年生に「税ノート」を寄贈いただきました！

国税庁では、国民の皆さまに、租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解をより深めてもらうため、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、集中的に様々な広報活動を実施しています。

この「税を考える週間」にちなみ、昨年11月に、公益財団法人札幌南法人会千歳支部様及び千歳青色申告会様から、ノベルティとして、市内の全中学1年生を対象に「税ノート」を寄贈いただきました。

これは、将来の納税者となる中学1年生に対し、税思想の啓発を行うことを目的にしたものであり、平成25年から毎年約900冊の「税ノート」を継続して寄贈いただいております。



さいきんのわだい

令和3年度家庭教育セミナー②「子育てには親育て～家庭・学校・社会の現場から～」

作家 家田荘子さんをお招きし、「子育てには親育て～家庭・学校・社会の現場から～」をテーマにご講演いただきます！（定員200名）詳細は、右記QRコード（市HP）をご確認ください。

日時：令和4年3月12日（土）18時30分から20時00分まで

会場：北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）2階中ホール

内容：暴力、引きこもり、摂食障害、リストカット、薬物、犯罪などを経験した子どもたちの生の声から、すべての家庭に共通して言える親からの愛情の伝え方、子どもが強く生きていく力になるお話です。



埋蔵文化財センター企画展示会

「ほかの縄文遺跡も訪れてみませんか？北東北編」のお知らせ

埋蔵文化財センターでは、令和4年1月7日（金）～3月25日（金）の期間で、企画展示会「ほかの縄文遺跡群も訪れてみませんか？北東北編」を開催しています。世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の北海道外の構成資産及び関連資産を紹介・解説しています。《会場：埋蔵文化財センター1階企画展示室》



令和3年度第2回総合教育会議を開催しました。

昨年12月17日（金）に令和3年度第2回総合教育会議を開催しました。この会議は、市長と教育委員会がお互いに連携を取りながら教育行政を推進するために開催するもので、今回は「令和3年度全国学力・学習状況調査の結果」及び「学力向上の取組」を議題とし、市内小中学校における全国学力・学習状況調査結果からみる傾向や課題、また、各校で学力向上のために実践している、スケジュール管理手帳の活用や家庭との連携、ICTの活用事例等の取組について共有しました。



わたしのおすすめ図書～学校司書さんに聞きました～

＜千歳小学校 学校司書 山中 恭子さんおすすめ＞

「あしたのことば」

森絵都 著／小峰書店

『ことば』は時には人を傷つけてしまう事もあります。でも本当は人と人とを繋ぐ温かいものだと思わせてくれる素敵な短編集です。人間関係は簡単ではなく歯車が合わずギクシャクする事も。そんな中、少しの勇気がきっかけで歯車がカチッと合い、前に一歩進む事ができた時の瞬間の清々しさや、ことばの優しさに触れた時の心の奥がじんわりと温まる気持ちを味わえる内容です。小学生の日常を描いた作品がほとんどですが（小6の教科書に「帰り道」掲載）、大人の方にもきっと心に響くお話ですので、皆さんにお薦めの本です。



＜向陽台小学校／北進小中学校 学校司書 岡 直子さんおすすめ＞

「魔法のたいこと金の針」

茂市久美子作、こみねゆら画／あかね書房

2月のある日のこと。町はずれにある小さな仕立て屋平井さんの前に、ばちがおちていました。お店に貼られたはり紙を見て取りにきたのは鬼の子こたろう。次の晩もやってきて、おどろく平井さんに「春を知らせるたいこに穴をあけたから直してほしい」と金色の針を差し出します。「たいこの修理はした事ないなあ」と金の針で丁寧に縫い合わせると信じられない事が…。「月の光で紡ぐマント」「空のかけらでつくった日よけ」など6つのお話はどれも金の針でつながっています。寒い冬、やさしくてファンタジックなお話はほっこりも温まるのを感じます。



向陽台小学校 ～私たちの単P活動～

向陽台小学校PTAは、石辺会長を筆頭に8名の役員が中心となって活動しています。本校PTAは、全家庭登録の形で、5つの委員会から成り立っており、新型コロナウイルス流行のため全委員会の活動をストップしていましたが、昨年12月に新型コロナウイルスの感染状況が収まってきたことを機に、急遽2年ぶりの「第1回PTA委員会」を開きました。これまでの向陽台小PTAの一体感やパワーを継承しつつ、各委員会の活動が一層進むことと願っています。「向陽っ子」のための活動を通して、保護者・地域にとっても盛り多いPTA活動になることを目指してやみません。



編集・発行 千歳市教育委員会（千歳市役所第2庁舎2階 教育部 企画総務課）

■住所：〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話：24-0819（直通）

■FAX：27-3743

■E-mail：kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL：https://www.city.chitose.lg.jp/